



一般質問

市民の声を市政に

(文責は、各質問者)

一般質問に30人が登壇

春日部市立病院について



滝澤 英明
議員

総務省による公立病院改革ガイドラインが示され、安定した経営のもとでの良質な医療の提供が求められています。

市立病院では地方公営企業法の全部適用に向けての検討を行っています。また、県内病院の動向と、そのメリットを伺います。また、早い時期の実施が必要と考えますが、実施時期についての市長の決断を伺います。また、病院の組織改革について、その目的と経営再建計画との関連、医療部の組織について伺います。さらに、宮代町との合併が話題になっていますが、今後を見据えた市立病院の充実に対する市長の意気込みを伺います。

○病院事務部長
県内では県立4病院と草加市、川口市が全部適用を実施しています。メリットとしては事業管理者に権限と責任が与えられ、経営責任の明確化が図られます。また、組織改

革は総務課と管理課を統合して経営管理課とし、経営再建の方策を着実に実行する組織としました。医療部については全部適用を見据えて研究する必要がありますと考えています。

○市長

全部適用に向けては、平成20年9月を目途に、市と病院が一緒になって取り組んでまいります。また、合併となると、名実ともに地域の中核医療機関になるため、さまざまな角度から十分に検討します。

このほか

○重度心身障がい者医療費助成事業について

火災被災者向けパンフレットの配布について



大山 利夫
議員

宇都宮市では火災の被災者向けに、手続や行政サービスをまとめたパンフレットを作成し配布しています。このパンフレットは罹災証明の申請方法や、各種証明書の再交付手続の説明と、市の担当連絡先を載せ、市営住宅の一時入居や固定資産税の減免措置等

の情報も載せています。

当市では年間40件ほどの住宅火災が発生しますが、いざという時のための案内を記載したパンフレットを作成してはいかがでしょうか。また、自治会長や民生委員等に、あらかじめ配布しておく、万が一の際に役立つと考えます。被災された方々を支援するものを作成するよう要望します。

○消防長

罹災後の手続は、現場と罹災申告等で消防本部に来署した時に説明しています。ご指摘のパンフレットは大変参考になることから、今後は関係部署と必要な手続に協議を進め、罹災者の支援策を取りまとめたパンフレットを作成し、平成20年度から案内をしてまいります。

このほか

- ワンルームを規制するマンション規制条例について
- いじめ防止条例について
- 教職員ひらめき提案制度について
- 5歳児健診の導入について
- 障がい児・者差別禁止条例について
- 庄和総合支所内への障がい者作業所の設置について
- 小渕地内通学路の安全対策

武里団地の 今後について



渡田 智秀
議員

独立行政法人都市再生機構（UR）のスリム化について、建てかえの時、団地から一時出て行かなければならないが、市は何か対応を考えていますか。家賃が高額になる時に、家賃減額制度の廃止が予想されますが、市の対応は。建てかえによる余剰地が出た場合、市の対応は。

また、武里団地内の不法投棄物処理について、法律にある占有者（管理者）とは誰ですか。管理者がURならば、市はURに指導すべきですが、市の考えはありますか。さらに、定期的なパトロールの実施を検討していただきたい。

○**都市整備部長**
移転費用等はURの負担と考へ、現在のところ対応は考へていませんが、URから要請があれば協議してまいります。家賃減額制度については、国の動向を見て対応します。

余剰地については、具体的な位置、面積等が明らかになつた際に総合的に判断します。

○**環境経済部長**
占有者はURであり、URが管理すると確認しています。パトロールについては、文書で要請してまいります。

このほか
○衆院選の対応について
○市立病院の小児科について
○内谷交差点信号について
○武里交番について
○春日部駅西口改札前雨よけ対策
○大沼武道館の駐車場確保について

小中学校の普通教室の暑さと寒さ対策



松本 浩一
議員

春日部市ではクーラーは、校長室や職員室、保健室、コンピュータ室等に設置されていますが、普通教室にはありません。さいたま市ではクーラーが設置され、越谷市でも扇風機が設置されています。近年、夏の暑さは大変厳しくなっており、先生方も子ども

も私たち「クーラーを設置してほしいが、せめて扇風機ぐらいは教室に何台か置いてほしい」という声が強くありますので、ぜひ設置してほしいと思います。

また、これから本格的な寒さが到来し、風邪やインフルエンザの流行の兆しがあります。石油の値上がりで、学校での燃料費も多くなっていると思いますが、「予算がない」ということで、教室で使うストーブの灯油を制限することのないようにしてほしいと思います。

○**学校教育部長**
扇風機は、一度にすべての学校に設置はできませんが、希望のある学校から、可能な限り設置したいと思います。また、灯油は、授業に支障のないように供給します。

このほか
○春日部駅東西自由通路の早期整備を
○敬老会の改善を
○児童・生徒用の机とイスを新しく
○学校給食に春日部産米を100%導入し、生産者の顔が見える取り組みを
○「全国いっせい学力テスト」には不参加を

市道2-215号線の 安全対策について



富樫 清年
議員

市道2-215号線は、下柳地内の新川橋から永沼との境の人道橋に至る、中川沿いの左岸の道路で、庄和地域から春日部地域への便利な道路として多くの利用者があります。しかし、道幅が非常に狭く、路肩やフェンスが崩れていたり、民地の生垣が張り出していたりするため、田んぼや河川側に脱輪する車があり、非常に危険です。

そこで、車や歩行者の転落防止のため全面的にガードレールが設置できないか。3メートルないような狭隘な部分について道路補修ができないか。さらに、生垣の刈り込みについて、以上3点伺います。

○**建設部長**
市道2-215号線は、許可を受け堤塘敷の天端を占用しているものです。ガードレールは、転落事故防止のために設置しており、危険箇所を調査し、県と協議の上、今後

も必要箇所には設置します。路肩の補修については、順次補修をしますが、堤塘敷の天端幅には限界があるので、さらなる改善については県と協議していきます。生垣の刈り込みについては、今後も所有者にお願いをしてまいります。

このほか
○新宿新田地内の通学路の安全対策について
○高齢者・障がい者宅への住宅用防災機器の設置について
○ぜんそく患者への医療費支援について
○南桜井駅東側の地下道整備について



市道2-215号線

東中学校建設の 進捗よく状況について



小島 文男
議員

毎回お尋ねをしています。東中学校の建設用地取得に向けて県との交渉はこうなっているのでしょうか。未来を背負う子どもたちの学校教育のためにも、一刻も早く用地を取得してもらいたいと思います。現在、春日部には県議も3人います。市長には積極的に県議及び知事に対して交渉していただきたいと思っております。また、建設予定地は昭和43年に鑑定価格の約3分の1で県に売ったと聞いております。買い戻すに当たっては3分の1以下の価格でないと合わないのではないのでしょうか。

○学校教育部長

現在、県の農林部等と交渉を進めており、県からは「市に売る」という、はっきりした意思表示をいただいています。ただ、農業改良センター建設時の補助金を国に返還するのか、また、建物の取り壊し費用の積算などについて調

整しています。

売買価格については、昭和43年当時、約3分の1で売りました記録が残っていますので、これを踏まえて用地交渉を進めていきたいと考えます。

○市長

今後においても、県議及び知事に当時の経緯を説明し、安価な価格になるよう積極的にお願いをまいります。

このほか

○公立病院の役割と現在の市立病院の運営と今後の診療体制について

○市内久太郎橋以北の道路の延伸と広域農道の安全対策は



東中学校

交通安全対策について



栗原 信司
議員

緑小学校、緑中学校へ通う児童生徒を抱える保護者の皆さんからの要望です。

川久保自治会館から、ユリノキ通りへ向けて、通学路として用水路にふたをかけ、歩道が整備されましたが、ユリノキ通りと交差する直前部分の歩道が未整備です。

半年前に担当者にお聞きしたところ、道路に面した角地にレストランができるので、その開発にあわせて同時に工事を行う方向であり、少し待ってほしいという説明を受けました。しかし、お店も歩道も一向にでき上がる気配がありません。

ユリノキ通りの抜け道になるため、車の通行量は朝夕の通学時間には激しいものがあります。この通りを通学路として使う児童生徒を抱える保護者の方の、心配の声が強くなっています。この対応はどうなっている

のでしょうか。早急に工事をして、歩道を整備すべきだと思いますが、市の対応をお伺いします。

○建設部長

未整備部分については、事業当時、開発計画があったため工事範囲から除外していましたが、その後、開発業者から計画変更の申し出があり、開発区域から除外されました。

現在、早急な整備に向け設計中であり、3月末までに完成したいと考えています。

このほか

○内谷陸橋にエレベーターを
○電子自治の推進について

中心市街地の 現状と課題について



栄 康次郎
議員

春日部駅東口のブルボンズ通りに旧富士銀行跡地がありま。現在、更地となり、マンション建設が計画されているようですが、低層階に商業施設を入れるよう指導すること。前、旧サティ跡地にマンションが建つ際にも提言しました。

中心市街地に人が戻ってくるだけでも非常に歓迎すべきではありませんが、今後ますます高齢化が進む中でコンパクトシティを目指すことは重要です。中心市街地に人が住み、生鮮食品がそろった商店街があり、コミュニティを形成して、歩きだけで十分に生活できることが重要と考えます。

○鉄道高架担当部長

銀行跡地は、現在、市と関係利権者がまちづくりを検討している春日部駅東口市街地整備事業の予定区域内にあります。マンション建設に向けて申請がなされ、受付が完了しています。

市としても、中心市街地活性化の観点から、低層階へ商業施設を入れる申し入れを再三にわたりに行いましたが、申請者は、住宅マンションであり、防犯など諸般の事情からできないとのことでした。現在に至っては、既に計画設計図が完成しており、これ以上の要請は困難と判断しました。現状では、一定規模の定住性の高い人口集積は、中心市街地の活性化に寄与すべきものがあると考えています。

このほか

○特例市への移行について

職員の意識改革について



山口 保
議員

一部の職員に全体に対する奉仕観念が希薄な者が見受けられます。特に窓口の応対で職員がすぐに席を立たないという苦情を聞いております。

また、最近新聞で伝えられることが多い汚職事件などは、公務に対する住民の信頼を裏切る行為です。特に建設関係の許認可や工事、物品の発注などの汚職事件は、事前の対策いかんにかかっていると思います。春日部市として、職員の汚職防止をどのように考えているのでしょうか。

○総務部長

市民の皆様にご気持ちよく市役所をご利用いただくためには、窓口でのあいさつや言葉遣いなど接遇の向上が重要であると考えます。そのため、職員への接遇研修や、管理監督者には部下職員へ接遇の指導ができるよう接遇指導力強化研修を実施しています。

汚職事件については、服

規律の確保を文書等で指導しています。また、公務への信頼を確保することを目的とした「職員倫理規程」や、職員が内部通報できるようにする「職員等の公益通報に関する要綱」を導入しています。

今後も研修のさらなる充実とともに服務規律の確保について周知徹底を図り、職場全体の倫理意識の向上と職員本人の自覚を促してまいります。

このほか
○静かな自転車利用のまちづくり
○アダプトプログラムの全市への発信を

巨大マンション建設は問題が多い



村松 君子
議員

大沼4丁目の広大な郵政省グラウンドの跡地、北側はマンション建設が予定されていますが、このマンションは12階建て、長さが210メートル、戸数が約400戸と、市内にはこれまでなかった巨大なものです。

近辺の住民から、日照・風

ララガーデン春日部でもパパ・ママ応援ショップ制度を利用可能に



五十嵐みどり
議員

88店舗が入ったララガーデン春日部がオープンし、連日にぎわっているようです。特に赤ちゃん連れのお母さんが多いように感じました。

今年の5月から実施された埼玉県の事業であるパパ・ママ応援ショップ制度も、子育て世代のお母さんたちから大変喜ばれました。ただ、もっといろんなサービスや利用店舗をふやしてほしいとの意見も寄せられました。

そこで、ララガーデン春日部でも、パパ・ママ応援ショップ制度に登録することは可能でしょうか。この制度を利用して喜んでいただけるよう推進してください。

○環境経済部長

パパ・ママ応援ショップについては、本事業の趣旨にご賛同いただければ、どなたでも協賛店舗の登録は可能です。

市としても、ホームページを通じてPRを行っており、

現在少しずつ増加し、県内では、さいたま市、川口市に次ぐ233店舗となっています。

また、ララガーデン春日部についても、協賛店として協力いただけるよう、お願いしているところです。

このほか
○「放課後子ども教室」について
○新成人に式典のDVDの配布を
○犬の飼い主のモラル向上を目指す飼い主の会員づくりに

○藤塚橋交差点付近の「右折レーン」設置について



鉄道新線誘致について
(浦和―春日部―宝珠花―
岩井―石下―筑波方面)



蛭間 靖造
議員

鉄道新線誘致については、都市から農村に人がやってくる流れをつくりだそうと思ひ提案しました。宝珠花に新線を通すことにより、駅ができて、「まち」ができていく。そして、都市と農村の対流が生まれると思ひます。都市には都市の価値がある。しかし、農村には都市と違った価値と暮らし方がある。その双方の価値を認め合うことが共生だと考えます。そして、一方的に農村から都市に人口が流出するのではなく、都市から農村に人がやってくる流れをつくりだすこと、それが対流だと考えます。私は、この対流をどうしてもつくっていききたい。また、つくばエクスプレスの沿線では、開発が急ピッチで行われており、大きな経済効果を得ていると聞いています。沿線には「まち」ができて、居住性を勝ち取っています。鉄道の誘致は、とても巨大

な事業であり、実現のためには、国の社会資本として、この地域に全力投下をしてもらう必要があります。そのため、国に対し、鉄道新線誘致の要望を突きつけてもらいたいと思ひます。

○総合政策部長

現時点では貴重なご提言として受けとめ、まずは総合振興計画に位置づけた鉄道関連施策の実現を推進します。

このほか

○ECOバッグとレジ袋について
猫島橋から県道春日部菖蒲線への取りつけ道路について

日本一子育てしやすいまちに向けて



白土 幸仁
議員

日本一子育てしやすいまちを目指すということは、全国的に人口減少が始まった状況において、地域間競争に生き残るための合理的かつ先見のな施策と考えます。しかし、一見先行投資型と見られるこの施策は、決して場当たり的な対症療法になつてはならない

日本一子育てしやすいまちの推進のために



小久保博史
議員

いと感じていきます。持続可能という意識を常に持ち、今の子どもたちが、大人になつても住みやすいまち、公平な負担という考えを持って、施策の実行をしなければならぬと感じます。そこで、本市が考える日本一子育てしやすいまちの定義について伺います。また、持続可能な施策とするためには、三方よしの考えを基本とするべきと思ひますが、いかがでしょうか。

○福祉部長

日本一子育てしやすいまちを定義づけるならば、市民の方々が、春日部に住んでよかった、子育てをしてよかったと実感できるまちの実現であると考えています。具体的には、市民ニーズをもとに事業を実施している、春日部市次世代育成支援行動計画の着実な推進です。

また、市民ボランティアなどの協力により、行政だけではなし得ない、きめ細やかな事業の実施が可能となります。このような形で子育て支援を行うことも、市民、子育て家庭、行政の3者がともにメリットのある、三方よし

○社会教育部長
負担の公平性を確保する観点から、基本的には使用料を負担していただくという考え

○市長

子ども憲章の制定については、重要な課題であると考えています。また、公共施設の有料化については、この制度が皆様にご理解いただき、定着していく中、さまざまなご意見、ご要望を真摯に受けとめてまいります。

このほか

○収納対策について
○市立病院について



**庄和総合支所への
図書館整備について**



野口 浩昭
議員

基本計画の策定に向けて、現在庁内で調整会議を設置して、施設コンセプトや管理運営方法等について検討を進めると聞いておりますが、これまでに何回の会議を開き、具体的にどのような検討をされてきたのか伺います。

また、基本計画の作成に当たって、できるだけ早い時期に開館できる方法を十分検討していただきたいと考えますが、執行部の考えをお聞かせください。

○総合政策部長

庄和総合支所庁舎を活用して、図書館及び児童センターを整備するための基本計画を策定することを目的に、庁内調整会議を設置し、10月に2回の全体会議を開き、基本計画策定に係る概要、スケジュール等の基本方針や活用可能な財源等についての検討を行いました。また、図書館、児童センター、総合支所、それ

ぞれの運営内容方針案等について検討を行いました。

11月には全体会議の検討経過を踏まえて、事務担当レベルで総合支所の現場を見ながら、施設整備上の課題について抽出作業を行い、現在は各担当で対応策の検討を進めているところです。今後、基本計画策定業務委託料の議決をいただきましたら、早急にコンサルタント会社と契約を締結し、年度内の計画策定を目指して至急に検討を進めてまいります。

このほか

○構造改革特区事業について



庄和総合支所エントランスホール

**「森の中の図書館」
蔵書数10万冊は
何としても確保を！**



福田 晃子
議員

3万人の署名を添えた「森の中の図書館」の請願が採択されてから1年が経過しました。市民は、いつオープンするのかと待ちに待っています。

9月議会以降、庄和総合支所有効活用庁内調整会議で検討されてきた図書館建設の進捗状況と今後の見通しについて、主に次の点について、お答えください。

①図書館整備の補強工事はどうにするのか。②図書館の蔵書数は少なくとも10万冊は必要。5、6万冊では高校レベル。市民の願いにこたえるには何としても10万冊は確保を。③オープン年度を明確に。来年度は基本設計、改修工事を計上し、遅くとも平成21年度にはオープンを。

○社会教育部長

補強工事については、専門知識を持つコンサルタントに委託し、改修費用、蔵書可能数などを、整備手法別に、比

較検討しながら基本計画策定を進めていきます。蔵書数については、基本計画策定時に、要望として提出します。

○総合政策部長

今年度内に基本計画策定、来年度以降は基本設計、実施設計と進めますが、実施設計の中で、どういう改修工事が必要なか、あるいは費用的な面も出てきますので、オープン年度については、その辺を見極めるの判断になります。

○市長

早期整備を目指しています。このほか

○新循環バスの充実を

**庄和総合支所庁舎内に
市民ギャラリーの設置を**



川鍋 秀雄
議員

すふえてくるものと思います。生涯学習を積極的に推進し、文化都市春日部市を実現するために、市民の方たちの美術作品の発表や鑑賞ができる場が必要であり、市民ギャラリーの整備により、市民の創作意欲の向上と普及、文化の向上に大きく寄与できると思います。しかし、現在、庄和地域には常設のギャラリーがありません。

そこで、市民が気軽に利用できるが利用できる、図書館、児童センターと一体となった市民ギャラリーを、庄和総合支所庁舎内のエントランスホール、市民ロビー等を活用して整備が可能と考えますが、いかがでしょうか。

また、現在策定中の庄和総合支所庁舎有効活用基本計画に、市民ギャラリーの設置を盛り込んでほしいと思いますが、市の考えをお聞きます。

○庄和総合支所長

現在の利用状況を妨げない範囲内で、エントランスホール、市民ロビーの壁面等を活用してのギャラリー施設が可能性あると考えています。

○総合政策部長

設置の可能性等について、基本計画の中で検討します。